

- ・コシヒカリの2回目の穂肥時期が迫っています。確実に穂肥を施用してください。
- ・柏崎管内でも、一部で葉いもちや、畦畔での斑点米カメムシ類の多発生が確認されています。ほ場を確認し、多発生が予想される場合は防除を徹底してください。

## 1 生育状況 (7/10現在)

品種	草丈 (cm)		茎数 (本/m <sup>2</sup> )		葉数 (葉)		葉色 (SPAD)	
	本年	指標値比 (指標値)	本年	指標値比 (指標値)	本年	指標値差 (指標値)	本年	指標値差 (指標値)
コシヒカリ	74	114% (65)	413	92% (450)	11.0	0.3 (10.7)	38.4	3.4 (35.0)
新之助	64	119% (54)	499	86% (580)	11.0	0.0 (11.0)	36.9	0.9 (36.0)

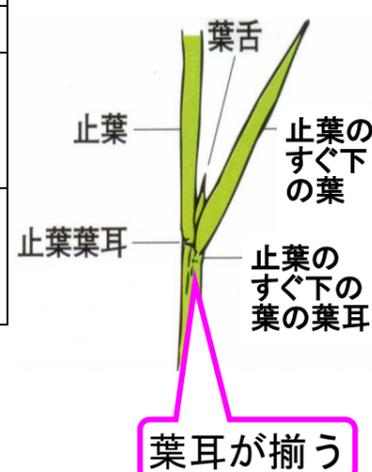
コシヒカリ：草丈「長い」 茎数「やや少ない」 葉数「並」 葉色「濃い」  
 新之助：草丈「長い」 茎数「少ない」 葉数「並」 葉色「並」

## 2 出穂予想と2回目穂肥量・時期の目安

○ 2回目の穂肥は、後期栄養の維持のため、**出穂 10 日前に確実に施用**してください。

品種	基準田植日	予想出穂期	2回目穂肥の目安	
			施用時期	10a当たり施用資材・量
コシヒカリ	5月10日	8月3日	7月24日頃 (出穂10日前)	(例) 越後の輝き有機 50 穂肥 8~12 kg (窒素量 1.0~1.5 kg/10a相当)
新之助	5月13日	8月8日	7月29日頃 (出穂10日前)	(例) 穂肥 520号 7~10kg (窒素量 1.0~1.5kg/10a相当)

出穂 10 日前の稲姿



※予想出穂期は、今後の気象条件により前後します。

※穂肥の効果をも高めるため、かん水し土壌が十分湿った状態で穂肥を施用しましょう。

## 3 コシヒカリの出穂期直前の追加穂肥の判断と対応

(今後、高温が予想されています！)

### 【基肥一発】

今後、葉色が低下し、出穂期の葉色が SPAD 値で 32~33 (カラースケール単葉 4.2~4.3) を下回ることが予想される場合には、**出穂の 10 日前までに窒素分量 1.0 kg/10a** を目安として追加施用してください。

### 【分 施】 ~2 回目穂肥を施用したが葉色が上がらない場合 (基肥一発と共通) ~

出穂期 3 日前の葉色 (SPAD 値) が 31 以下、カラースケールで単葉 4.0 以下のときは、**早急 (走り穂が見られる頃) に窒素分量で 1.0 kg/10a を上限に、化成肥料を追加施用**してください。

※特別栽培米 (5 割減) の場合は、化学由来窒素分量の基準が 3.0kg/10a→3.5 kg/10a に変更されています。追加穂肥の施用を考えた上で、2回目までの分量を計画してください。

## 4 病虫害対策

### 《いもち病》

- 柏崎管内では断続的にいもち病の感染好適条件が発現しており、多くの品種で病斑が確認されています。(管内初発生確認：7月2日、品種：ゆきん子舞)
- コシヒカリ BL 以外の品種で病斑が確認された場合は、速やかに防除を実施してください。
- 新之助やもち品種など、いもち病に弱い品種は、予防防除を基本とし、穂いもち防除も徹底してください。

## 《紋枯病》

- 紋枯病は前年に多発生したほ場で発生しやすい病気です。高温・多湿条件で発病が助長され枯れ上がりによる未熟粒の発生や倒伏により品質・収量に大きな影響を及ぼします。病斑が広範囲に確認された場合は、早急に薬剤防除を行いましょう。

## 《カメムシ類》

- 昨年はカメムシによる被害粒が極早生～中生品種で多発生しました。
- イネ科雑草の種子はカメムシの餌であり、生息・繁殖場所となります。 雑草が結実しない間隔での畦畔の除草を徹底してください。
- カメムシ類の被害はアカスジカスミカメ、アカヒゲホソミドリカスミカメが主体ですが、地域によっては大型のクモヘリカメムシ等の発生が確認されています。クモヘリカメムシの発生量に応じて、2回目の追加薬剤防除も検討してください。
- これらのカメムシ類は飛翔性が高く本田内にまで侵入するため、額縁だけの薬剤防除では不十分です。ほ場全体に基準量の薬剤を散布してください。

アカヒゲホソミドリカスミカメ



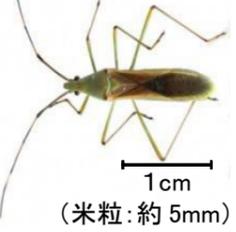
アカスジカスミカメ



ホソハリカメムシ



クモヘリカメムシ



## 5 出穂前後の水管理

- 穂ばらみ期～登熟初中期は最も水を必要とする時期のため、こまめな水管理で土壌水分を維持し、稲体活力を保ってください。
- 出穂後は、登熟期の品質低下を防ぐため田面の水が自然になくなり、溝や足跡に残っている水がなくなる前に再びかん水する飽水管理を実施してください。

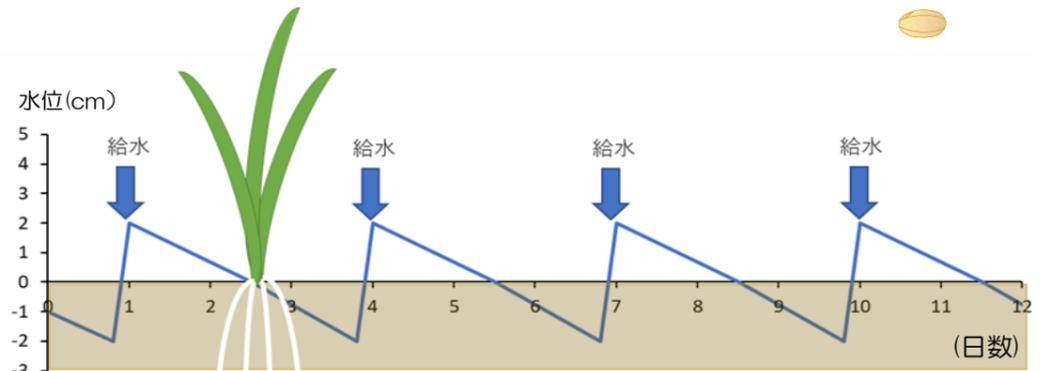


図 飽水管理のイメージ

- 異常高温時や、フェーンが予想される際には速やかに入水し、急激な乾燥による障害の発生防止に努めてください。  
フェーン通過後は、ほ場内の水が温まっているので、できるだけ水の更新を行い、湛水状態から飽水管理へ移行しましょう。
- 玄米の厚みが決まるのは出穂 25 日後頃からとされ、それまでは十分な水が必要です。完全落水は「出穂期から 25 日」以降にしましょう。

### ～農薬の安全使用を徹底しましょう～

1. 農薬を使用するときは、農薬使用基準（使用量、使用時期、使用方法等）に基づき、使用者の責任において使用する。
2. 防除前に、器具の洗浄、清掃が十分であるか確認してから使用する。
3. 農薬の散布に当たっては、飛散しないように風向きなどに細心の注意を払う。
4. 農薬の調整時や散布時には、手袋やマスク、長袖などを着用し、薬剤が直接触れないようにする。

## ◎ SNS・メールで情報提供しています！

<JA えちご中越柏崎地域営農情報>



アカウント ID : @882qbimy



<柏崎農業普及指導センター メールマガ>



↑詳細はこちらから

[ngt111840@pref.niigata.lg.jp](mailto:ngt111840@pref.niigata.lg.jp)

こちらのアドレスに、  
①件名は「メールマガジン申込」  
②本文に「氏名」、「電話番号」を記入の上、送信してください。

### 柏崎地域農業振興協議会

柏崎市、刈羽村、新潟県農業共済組合中越支所、えちご中越農業協同組合、柏崎土地改良区  
柏崎農業普及指導センター（新潟県柏崎地域振興局農業振興部）

### 【お問い合わせ先】

全地区共通 柏崎農業普及指導センター	21-6263
東部田尻・西中通・高柳 かしわざき営農センター	21-0220
南部高田・中央柏崎地区 かしわざき南部営農センター	41-6087
刈羽・西山地区 かしわざき北部営農センター	45-2258